



夕刊

朝日新聞社 2005年  
発行所 北九州小倉北区室町1丁目  
1番1号 電話093-953-1131  
朝日新聞西部本社  
福岡市博多区博多駅前  
2丁目1番1号 電話092-281-1131  
福岡本部 電話092-411-1131

# 今どき西新ニスト

福岡市の都心福岡駅が子どもが急増している。ライフスタイルの変化や地価下落に伴うマンション開発で、郊外派だった子育て世帯が便利な地下鉄沿線を目指すようになったからだ。文教地区として人気が高い早良区の西新地区では、ブランド感覚の「NISHIJINIST」(西新ニスト)という言葉も生まれ、小学校では教室不足に悩んでいる。(杉原里美)



## 都心回帰 マンション続々



世帯だった。7月にはさ

### 価格下がり 買いやすくなる

らに2棟72戸が完成する。マンション建設地の大半は大手企業の社宅跡地。コスト削減のため社宅を売却する企業が相次ぎ、より高層のマンションに生まれ変わっている。

街の魅力もある。市営地下鉄西新駅を中心に広がる地区には、中学と高校を併設する西南学院大学や進学校の修猷館高校が隣接し、大型の商業ビルやリヤカー部隊で有名な商店街も近い。西新で暮らす人を「NISHIJINIST」と呼んで、オシャレ感をアピールする不動産販売業者も現れた。

## 児童増 プレハブで授業

「110こもマンションに、正信校長は、自転車で行くとおぼろかなあ」市立西新小学校の木下区内の空き地を「植栽」しては、ため息をつく。

同校は今春、児童数が約80人増え、992人になった。この9年では3

割増。5年生2クラスが、校庭に建てられたプレハブ校舎で勉強中だ。2教室を増築しているが、木下校長は「すでに来年も不足することほ明らか」と話す。

開発ラッシュは西新だけではない。市建築指導課によると、04年度の市内の住宅着工件数は25698戸で、マンション

など共同住宅が87%を占める。03年度より約6.5

便利で、通勤時は貸せるという収益性も、都市部のマンション志向につながっている」とみる。都心志向を裏付けるデータもある。シーム生協行動研究所(同市博多区)が昨年末、福岡県内の20代から50代の男女200人余りに住居に求めるものを尋ねたところ、「通勤利便性」が78.5%で、「郊外住宅重視」は33.7%にとどまった。市教委によると、同区高取小、中央区の豊国小、平尾小、博多区の博多小、西区の内浜小などでも児童数が増えている。いずれも地下鉄沿線で、利便性が高い場所だ。ただ、児童急増は教育環境に影響を及ぼす。西新小では、少人数指導のための教室や教材を収納する場所が不足しているほか、けがをして保健室に運ばれる子どもが増えている。木下校長は「もう増設できる敷地もない。校区の繰引きの変更など根本的な対策が必要だ」と話している。



運動場に仮設されたプレハブ校舎。プレハブ校舎で授業を受ける児童たち。いずれも24日午前、福岡市早良区の西新小で、金川雄策撮影

マンションは4棟191戸。うち半程度が家族

04年度より約6.5

03年度より約6.5